

小倉山通信

自立心と共感、創造力に満ちた角館中学校
平成30年2月5日(月) No.39

地域活性化選手権で活躍した三人が 感謝状をいただきました



2月1日(木)、有限会社青柳家の代表取締役、高橋佐知さんが来校され、「地域活性化中学生選手権」で活躍した、本校のS.さん(3B)、K.さん(3B)、K.さん(3C)に感謝状が授与されました。

9月30日(土)に行われた「さきがけ in 仙北 地域活性化中学生選手権」では、本校の3人が角館歴史村と青柳家を題材にした地域活性化案を「思い出の湯分校」で発表しました。

発表の内容が高く評価され、最優秀賞を受賞しましたが、発表に盛り込まれたアイデアのいくつかが、青柳家で検討され、4月以降実現の見通しとなったとのことです。今回の感謝状は、アイデアの具体化を機会に、高橋佐知さんが活性化選手権に参加した3人に感謝の気持ちを伝えたいということで贈られました。

具体化される見通しとなったのは、「駕籠乗り」と「甲冑での歴史ガイド」とのことです。準備が着々と進んでいるようです。

今回の感謝状は、柔軟な思考力と豊かなアイデア・表現力が評価されたことと思いますが、生徒のアイデアをしっかりと受けとめて実現にこぎつけてくださった高橋佐知さんに、心から感謝したいと思います。

感謝状について3人からは「誇りに思う」という声も聞かれました。この経験は、「自分たちのアイデアが地域の活性化に本当に役立つ」という大きな自信につながりました。



太陽学年集会の様子を紹介します

2月2日(金)、第12回となる太陽学年の学年集会が行われました。

代表委員会の進行で行われた今回のテーマは「私の健康管理法」でした。

集会では、T.さん(1A)、I.さん(1B)、S.さん(1C)、S.さん(1D)から「私の健康管理法」の紹介がありました。以下にその主な内容を紹介します。

- 早寝早起きなどの基本的なことに気をつけて、食事や睡眠をきちんととる。(T.さん)
- 食事のほかに、こまめな運動と手洗いうがいをして、インフルエンザを防止している。(I.さん)
- 生活リズムを崩さないように気を付けている。(S.さん)
- 早めに寝ることと、自分の楽しいことを考えてインフルエンザに負けないようにする。(S.さん)

それぞれ、インフルエンザの予防のために心がけていることが伝わってきました。中でも、S.さんの「自分の楽しいことを考えてインフルエンザに負けないようにする」という内容は、私も真似をしたいと思うものでした。「病は気から」とよく言いますが、前向きな気持ちは免疫力を高めるという話を聞いたこともあります。心がけたいものです。

そのあと、養護教諭の先生から「インフルエンザはどうやって感染していくのか」を中心にしたお話がありました。飛沫感染と接触感染について、具体的な距離や場所を示しながらお話していただきました。

本校のインフルエンザの感染状況を週単位の確定罹患者数(1日ごとの罹患者数を週単位で合計した数、延べ数)で見ると、1月15日からの週は全校で13名だったものが、翌22日からの週は94人に、29日からの週では78人と推移しています。これまでのところ、罹患者数のピークは1月25日(木)の全校で24名となっており、少しずつ減ってきてはいますが、まだまだ安心できない状況が続いています。

今後とも、インフルエンザの感染予防にご配慮をお願いします。



おめでとう!
最近の生徒の活躍から

